

# 南アルプス 国立公園

National  
Parks  
of Japan



国立公園とは



国立公園は、日本を代表する自然の風景地として、自然公園法に基づいて国が指定するものです。北は北海道から南は沖縄、小笠原諸島まで34の国立公園が指定されており、年間3億人以上が利用しています。国立公園内は、自然の絶景だけではなく、野生の動植物、歴史文化などの魅力の宝庫です。日本の国立公園は、森林、農地、集落など多様な環境が含まれていることが特長です。ほとんど手つかずの自然が残されているところがある一方で、自然と人の暮らしが織りなす地域の歴史や文化にふれることができます。是非、実際に国立公園を訪れ、四季折々に変化する日本の美しい自然を満喫してください。

## 連絡先一覧

南アルプス自然保護官事務所  
〒400-0293 山梨県南アルプス市芦安芦倉518  
南アルプス市芦安支所2F  
| TEL | 055-280-6055 | FAX | 055-280-6056

関東地方環境事務所  
〒330-6018 埼玉県さいたま市中央区新都心11-2  
明治安田生命さいたま新都心ビル18F  
| TEL | 048-600-0816 | FAX | 048-600-0517  
| URL | <http://kanto.env.go.jp/>

南アルプス国立公園サイト  
<http://www.env.go.jp/park/minamialps/>



発行者：環境省  
発行年：2018年

南アルプス国立公園  
MINAMI-ALPS NATIONAL PARK

※見どころ案内マップは、指定区域の概要を示すために作成したものであり、誤差があることを考慮した上でご利用ください。



## 海底の記憶が刻まれた高峰群

— 深い森に抱かれ、今なお隆起し続ける重厚な山岳地 —

南アルプスは、甲斐駒・鳳凰山系、白峰山系、赤石山系の3つの山系から構成され、日本で2番目に高い北岳(3,193m)をはじめ、3,000m級の高峰を十座以上有し、大井川、天竜川、富士川の源流部となっています。日本アルプスの中でも最も南に位置し、夏に雨が多く、冬の雪は少ない山域です。大量の雨が引き起こす河川浸食作用によって、深く切れ込んだV字谷が数多くみられ、また積雪量が少ないことから、森林限界の標高が高く、稜線付近まで森に覆われているという特徴が見られます。日本で氷河が存在した痕跡のある最も南の場所で、高山帯には2万年前頃に造られた氷河地形・周氷河地形が現存しています。仙丈ヶ岳や荒川三山などで見られるカル(圍谷)もその一つです。氷河時代に分布を広げ、今なお高山帯で生きているライチョウ、キタダケソウ、チョウノスケソウや高山蝶などの動植物も見られます。また、古くから山岳信仰の対象でもあり、自然環境のみならず、文化の継承にとっても重要な地域です。

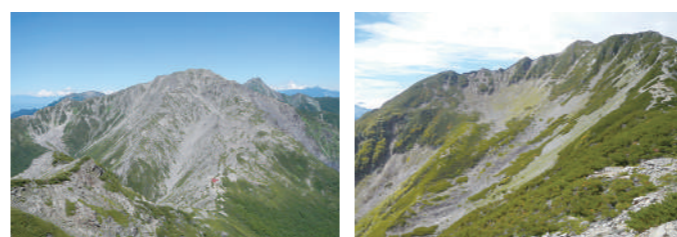
【撮影年月日】昭和39年6月1日 【関係都道府県】山梨県、長野県、静岡県 【面積】35,752ha



## 地形 地質 景観 植生

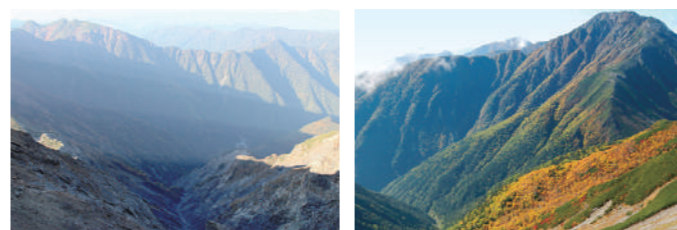
### — 地形・地質 —

南アルプスは100万年ほど前から東西方向の圧縮を受けて急速に隆起した非火山性の山々で構成された構造山地で、大きな山谷が特徴です。南アルプスは、現在でも隆起が続いており、その速度は年間3~4mmで、日本最速の隆起速度です。また、世界と比較しても、その隆起速度はトップレベルです。氷河の作用によって形成されたカル(圍谷)が特徴的な地域でもあり、地面の凍結・融解作用によってできた構造土などの周氷河地形も見られます。山地が急激に隆起すると、稜線部や山腹斜面などが崩壊しやすくなります。そのうえ南アルプス地域特有の湿潤で雨の多い気候の影響を受けて、谷は深く浸食されます。その結果、V字谷や線状凹地、崩壊地などが多く見られます。



間ノ岳の山体と南面の谷

小仙丈沢カル

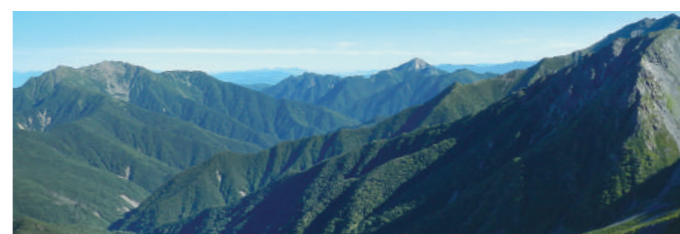


荒川前岳の大崩壊地

赤石山のV字谷

### — 景観・植生 —

南アルプスの森は、気候や地質の影響で森林限界の標高が高く(2,700m程度)、高所まで森林に覆われています。また、標高800m以下の丘陵帯から高山帯まで森林の垂直分布が明瞭に表れています。おおそ標高1,600m付近までの山地にはブナをはじめとした広葉樹林が、標高2,700m付近までの亜高山帯にはシラビソなどからなる針葉樹林が、それ以上の高山帯ではハイマツ帯やお花畑が広がっています。また、高山帯と亜高山帯の境目付近にはダケカンバ林が発達します。



三峰岳から見た野呂川源流部



荒川のお花畑

コケむした林床



### — ニホンジカ対策 —

南アルプスでは、平成10年ごろから稜線付近に現れるニホンジカが増加し、高山帯を彩るお花畑での食害が深刻化しています。この問題に対し、平成21年に関係行政機関による南アルプス高山植物等保全対策連絡会が設置され、対策方針が策定されるとともに様々な事業を実施しています。モニタリング調査やニホンジカの捕獲、防鹿柵の設置によるお花畑の保護、裸地化してしまった場所への土壌流出防止などの対策が進められ、高山帯の景観の復元を目指しています。

### — 希少動植物保護の取り組み —

キタダケソウやライチョウについては種の保存法に基づいて保護増殖事業計画を策定し、その生育地や生息地の保護を図っています。キタダケソウについては、盗掘などを防ぐためのパトロールや生育状況のモニタリング、生育環境の改善などに取り組んでいます。



悪沢岳に設置された防鹿柵

キタダケソウ生育地の侵入防止柵

## 植物 動物

### — 高山のお花畑 —

南アルプスには、氷河時代に分布を広げ、その後温暖になっていく過程で、気温の低い高山に残った生物(氷河時代の遺存種)が見られます。植物では、キタダケソウ、チョウノスケソウ、タカネマンテマ、ムカゴユキノシタなど、高山に生きている一部の種がこの「氷河時代の遺存種」です。その他、タカネピランジや、キタダケキノボウゲ、サンプリンドウなど、南アルプスやその周辺地域にのみ分布している固有種も多く見られます。

荒川前岳南東斜面のお花畑と赤石岳  
南アルプスの稜線部では、雄大な山々を背景に美しいお花畑を見ることが出来ます。



### — 高山帯に生育する植物 —

キタダケソウ  
6月中旬から7月上旬の雪解けすくに、白い花をつけます。世界でも北岳の山頂部にのみ生育する固有種です。

タカネピランジ  
高山帯の岩場などに生育しています。花はピンク色のタイプと白色のタイプがあり、7月から8月に開花します。

タカネマンテマ  
国内では南アルプスの稜線部にのみ生育し、8月頃に開花します。がくの部分が大きく膨らんでいるのが特徴です。

チョウノスケソウ  
7月から8月に白い花をつける落葉小低木です。国内では南アルプスが分布の南限となっています。

### — 林床の植物 —

南アルプスの森は、様々な林相が見られ、その林床を注意深く見ていると、可憐な花々を見つけることができます。



高山帯 | キタダケソウ

高山帯 | タカネピランジ

高山帯 | タカネマンテマ

高山帯 | チョウノスケソウ

林床 | ホテイラン

林床 | ツバメオモト

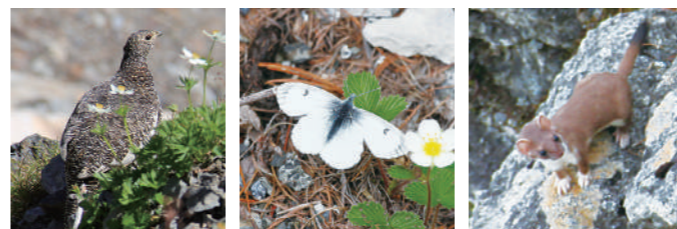
### — 南アルプスに生息する動物 —

南アルプスの動物相は、山深く原生的な森林が残されているため、哺乳類は種類数も個体数も多く、ツキノワグマ、ニホンカモシカ、ホンドギツネ、ニホンザル、ホンドオコジョなど30種以上が確認されています。一方、鳥類でこの公園を代表するのは国指定の特別天然記念物であるライチョウです。高山帯に棲み、光岳が分布の南限となっています。また、自然の豊かさを反映して昆虫類も豊富であり、高山性のチョウ類も生息しています。

ライチョウ(国指定特別天然記念物)  
日本では高山帯に生息しており、夏は褐色、冬は白色と、季節により羽毛の色が変化します。ハイマツの下などに巣をつくり、植物の芽や実などを食べます。夏は保護色のため目立ちませんが、登山道沿いでも見かけることがあります。

クモツマツキチョウ  
南アルプス・ハヶ岳亜種(長野県指定天然記念物)

ホンドオコジョ  
山岳地帯に生息する、肉食の小型哺乳類



南アルプス | ライチョウ

南アルプス | クモツマツキチョウ

南アルプス | ホンドオコジョ

## 文化

南アルプスの山々は人里離れた奥深い自然地域ですが、古くから信仰の対象となっており、人々との関わりがありました。

### — 子授け地蔵伝説 —

子授けのために地蔵ヶ岳(鳳凰三山)に登拝した夫婦が奉られている地蔵一体を持ち帰り、願いが叶うと二体にしてお礼の登拝をするといえます。

### — 御嶽を拝む道 —

その昔、長野県大鹿村から小波川を詰め、大聖寺平まで登る道は、遥か木曾の御嶽山を拝むために開かれたものといわれています。

### — 駒ヶ岳信仰 —

甲斐駒ヶ岳(東駒ヶ岳)は、1800年代の江戸後期に、現在の北社市側の黒戸尾根から開山されました。麓の駒ヶ岳神社を拠点に駒ヶ岳講が盛んに行われ、現在でも駒ヶ岳神社では白装束の講者たちが般若心経を唱えて参拝したあと山頂を目指す、講中登山が引き継がれています。



地蔵ヶ岳

大聖寺平

栗沢山から見た甲斐駒ヶ岳

甲斐駒ヶ岳頂上付近(駒ヶ岳神社本社)

## 国立公園の利用上のマナー

多くの方々に楽しく利用していただくために、国立公園内では自然を大切にすることを心がけ、次のことを守ってください。

ゴミを捨ててください

花や植物を採らないでください

野生動物に餌を与えないでください

動物を獲らないでください

歩行中禁煙

たき火は指定の場所で行いましょう

記念看板の設置や岩などへの落書きはしないようにしましょう。

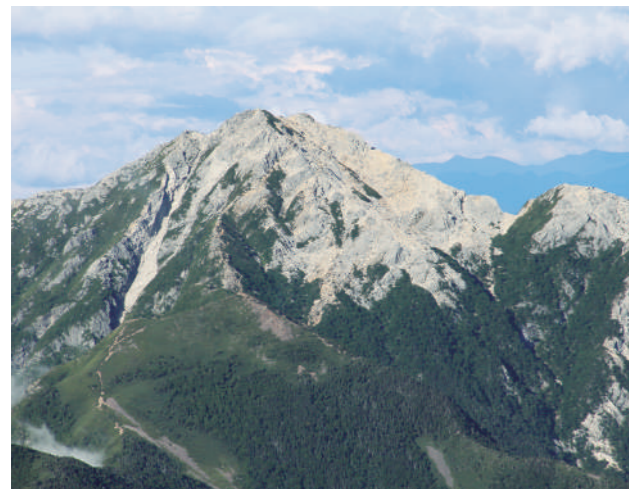
ペットの持ち込みはご遠慮ください

登山道はずれての歩行や写真撮影は行わないようにしましょう

先の尖ったストックは危険です。使う場所を考え、ゴムキャップの利用などを心がけましょう

山小屋、避難小屋などの施設はみんなできれいに大切にしましょう。

01 甲斐駒ヶ岳(東駒ヶ岳)



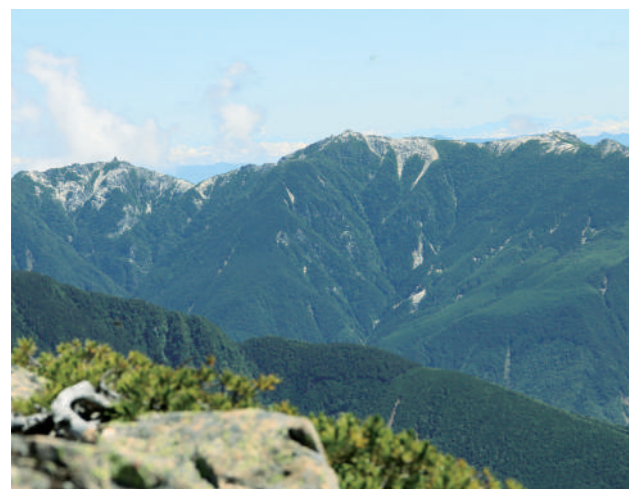
[標高] 3,190m  
山全体が花崗岩で覆われ、白く優美な山容がとても魅力的で、速くからも目立つ存在です。黒戸尾根ルートには、ほころなど山岳信仰の跡が随所に見られます。

02 仙丈ヶ岳



[標高] 3,033m  
山容は比較的穏やかで、その優雅な姿から「南アルプスの女王」と呼ばれています。危険な箇所が少なく登りやすい山です。

03-05 鳳凰三山 薬師岳・観音岳・地藏ヶ岳



[標高] 薬師岳2,780m 観音岳2,841m 地藏ヶ岳2,764m  
薬師岳、観音岳、地藏ヶ岳を主とする山塊です。地藏ヶ岳にある大きな石柱は「オベリスク」と呼ばれており、鳳凰三山のシンボリック的存在です。

06 北岳



[標高] 3,193m  
富士山に次ぐ日本第二の高峰で、間ノ岳、農鳥岳とあわせて白峰三山と呼ばれます。東側斜面には、北岳バットレスと呼ばれる山頂から続く高さ600mの岩壁があります。

07 間ノ岳



[標高] 3,190m

どっしりとした大きな山体が特徴的です。大井川の源流に位置し、周辺には北沢カール、細沢カールといった氷河地形や山体の崩壊によってできた多重山稜が見られます。

08 農鳥岳



[標高] 3,026m

残雪の時期には山腹に鳥の形の雪形が出現し、鏡て暮らす人々はこれを農事暦の目安にしたことからこの名がついたと言われています。

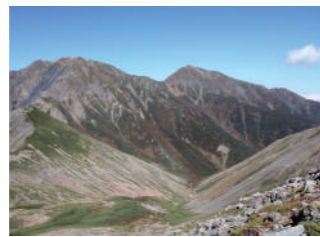
09 塩見岳



[標高] 3,047m

山頂は西峰と東峰に分かる双耳峰ですが、ドーム型の独特な山容は、遠方から眺めると独立峰のように見えます。鳥倉林道からのルートにより、多くの登山者が訪れます。

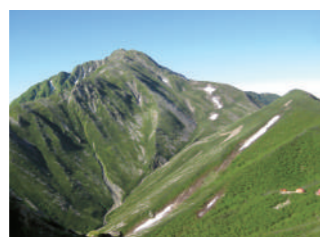
10 11 荒川三山 東岳(悪沢岳)・中岳・前岳



[標高] 東岳(悪沢岳)3,141m 中岳 3,084m 前岳 3,068m

東岳(悪沢岳)、中岳、前岳をあわせて荒川三山と呼ばれます。明瞭な氷河地形が残る日本最南端の場所、複数のカールが存在し、お花畑も見られます。前岳西斜面の荒川大崩壊地では、ダイナミックな変動地形が見られます。

12 赤石岳



[標高] 3,121m

三方に尾根を張り出したどっしりとした山容で、国内で最高地点の一等三角点が設置されています。赤石山脈という名称は、この山から転用されたものです。

13 聖岳



[標高] 3,013m

聖岳は日本最南端の3,000m峰です。聖岳から兎岳を経て赤石岳に至るルートでは、南アルプスの全容を展望しながらその深さを感じることができます。

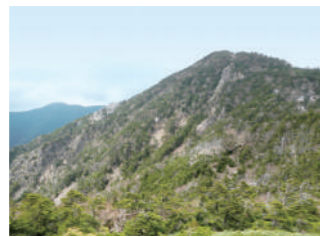
14 上河内岳・茶臼岳



[標高] 上河内岳 2,803m、茶臼岳 2,604m

茶臼岳と上河内岳の間には、過去の寒冷な時期に地面が凍結と融解を繰り返すことで、大小の礫が多角形状に並ぶ「亀甲状土(構造土)」と呼ばれる地形がみられます。

15 光岳



[標高] 2,592m

山頂部がわずかに森林限界を超えているものの、全体が樹林帯に覆われています。光岳は、ハイマツとライチョウの分布の世界的南限にあたります。

Information 施設案内

**野呂川広河原 インフォメーションセンター** C2  
〒400-0241  
山梨県南アルプス市  
芦安芦倉字野呂川1685  
[TEL] 090-2673-2406  
山梨県の広河原にあり、マイカー規制バスのチケット売り場の2階がインフォメーションスペースとなっています。登山道情報や天気予報が確認できるほか、夏季シーズンには警察署の臨時駐在所が開設されます。  
[開館期間] 6月中旬～11月初旬

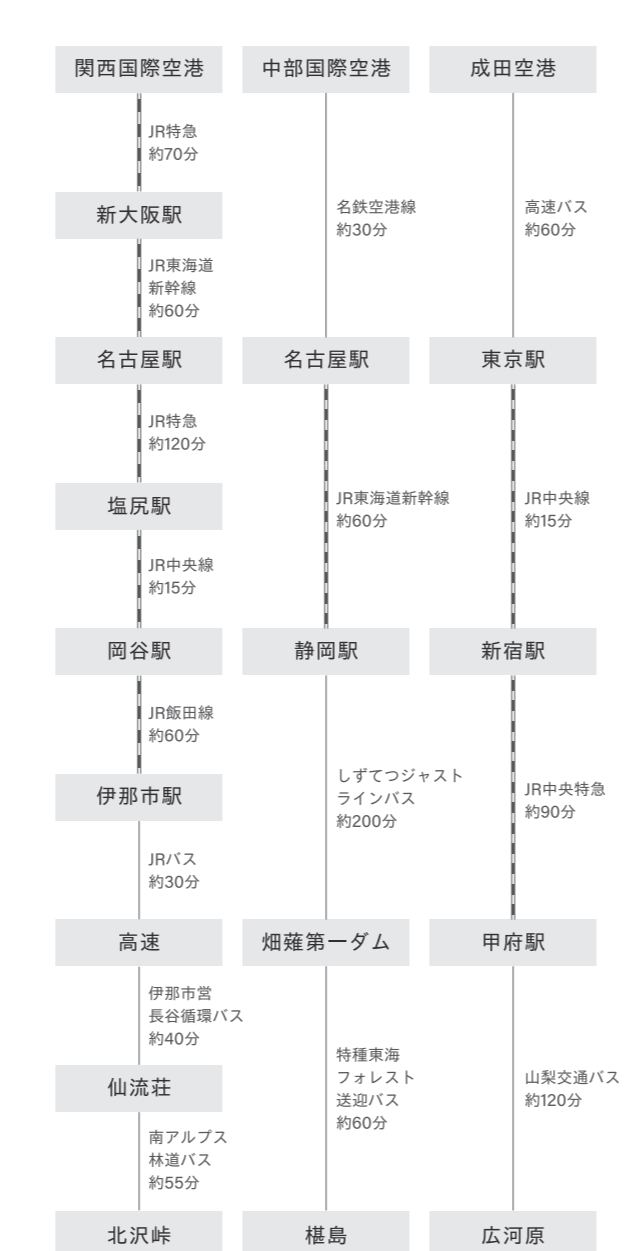
**南アルプス 自然ふれあいセンター** C5  
〒428-0505  
静岡県静岡市東区田代1301-2  
[TEL] 0547-46-4717  
静岡県井川田代の権島ロッジに併設されています。登山情報や天気予報を確認できます。

**芦安山岳館** D3  
〒400-0241  
山梨県南アルプス市  
芦安芦倉字1570  
[TEL] 055-288-2125  
山梨県芦安のマイカー規制バス乗り場近くにあり、南アルプスの自然や歴史・文化などの展示があります。山岳関係の図書も充実しています。

**南アルプス 長谷ビジターセンター** B1  
〒396-0401  
長野県伊那市長谷非特1400  
[TEL] 080-5147-3005  
道の駅「南アルプスむら長谷」に隣接し、アウトドアや観光情報を発信しています。

※開館時間などについて詳しくは各施設にお問い合わせください。

Access 交通アクセス



※アクセスルートは一例です。各区間の所要時間は目安です。詳しくは各交通機関の窓口・ホームページなどでご確認ください。

